

昭和橋学区納涼まつり大会



【昭和橋学区】

■世帯数：4,415 世帯

■人 口：10,325 人

■面 積：1.680 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・昭和橋小学校の校庭を会場に「納涼まつり大会」を2日間に渡り開催。延べ参加者数は約 2,800 人。
- ・学区の行事は各種団体にまかせているが、納涼祭りは実行委員会を組織し、学区の全団体（学区連絡協議会）の協力のもと、準備・実施・撤去を行っている。
- ・まつりでの学区住民の対応を参考に、災害時における対処の難しさを毎年感じている。

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、子ども会に作成を依頼したポスターを各町内に掲示する。

【アピールポイント】

災害時に発電機があれば照明等が使える、炊き出しも可能となる。

2 きっかけ、背景

各町内会が独自に盆おどりを開催（4～5ヶ所で開催）していたが、コミュニティセンターができたことをきっかけに学区全体の行事にできればと、小学校で実施するようになった。また、災害時には発電機さえあれば、照明などの設備が整備されているので炊き出しなどができるようになっている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員
計約 168 人

(2) 他団体との協力

地域団体、地元企業

(3) 運営協力

若い世代に事務局へ入っていただき、育成する。

4 実施のスケジュール

H4年
5月 有志による実行委員会組織の立ち上げ

8月 第1回昭和橋学区納涼まつり大会を実施

H20年
8月 お楽しみ抽選の景品を学区内の商店で各町内会長・団体長が調達（学区内の商店の活性化をはかるため、学区内の商店で調達する）

H24年
8月 第20回昭和橋学区納涼まつり大会を実施



5 成果と課題

(1) 成果・効果

子どもの参加が多くなり、住民間の交流が深まった。

(2) 苦労した点

まつりへの協賛金の協力について住民の理解を得ることに苦労した。また、企業が元気になることが必要である。

(3) 今後の課題・展望

高齢者が多くなり、活動の担い手の確保が今後の課題。

(4) メッセージ・アドバイス

日程の調整が重要です。